

平成28年度

寒川町みんなの地域福祉つながりプラン

進行管理表

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	1 (仮称)健康福祉総合センター検討・建設事業					
事業内容 (目標)	健康、福祉、交流等の総合拠点として(仮称)健康福祉総合センターを建設検討します。					
現状と課題	寒川町公共施設等総合管理計画において、(仮称)健康福祉総合センター建設用地については既存の保健福祉施設や役場庁舎機能等を集約した複合化という形での方向性が示された。 今後は施設再編課で策定する寒川町公共施設再編計画により建設検討がされます。					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	施設建設にかかる取り組み					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	—	—	—	—
実績	—	●				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	公共施設等総合管理計画の策定に伴い、(仮称)健康福祉総合センター建設についても町の公共施設等の状況等が整理されてから、様々な事柄を検討していく必要がある。					
備考	目標について、今後は寒川町施設再編計画により建設検討がされるため平成29年度以降は「—」となっています。					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	2 包括的支援事業					
事業内容 (目標)	高齢者の介護予防及び包括的ケアマネジメント、総合相談・権利擁護を実施できるよう支援を行います。					
現状と課題	地域包括支援センターの人員を増やし相談体制を強化する方針で動いているが、募集をかけても応募がない状態で、予定どおりの人員配置ができていない。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	包括支援センター設置数(相談窓口箇所)					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	箇所	1	3	3	3	3
実績	箇所	1 2:出張相談箇所				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	役場内部の地域包括支援センターの他に北部公民館及び南部公民館にて月に2回出張相談を行い相談体制の拡充を図ったため。					
備考						

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	3 社会福祉協議会補助事業					
事業内容 (目標)	地域福祉を推進する事業を実施している社会福祉協議会に対し補助金を交付し、地域福祉が推進するよう必要な助言等を行い、連携を図ります。					
現状と課題	社会福祉協議会への運営補助を行っているが、事業ごとの実態把握に努め、適正化を図っていくことが必要。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	事業カリキュラム数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	事業	82	83	83	84	84
実績	事業	85				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	障がい者スポーツ体験会(28年度より社協事業として実施)や福祉関係団体との懇談をとおしての地域福祉実態調査等の新規事業や、ボランティアセンター、権利擁護事業等地域福祉を推進する順調に事業を展開している為。					
備考	社協運営費補助金対象の社協事業数					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	4 相談支援事業					
事業内容 (目標)	障がい者の自立した生活を送ることができるよう、制度利用や日常生活上の相談等を受け、必要な情報を提供するための相談窓口を開設します。					
現状と課題	平成18年10月から受けている相談件数は年々伸びており、複雑で支援の困難な相談を受けることもある。支援の困難なケースに対してどのように支援をしていくかが課題。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	相談支援件数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	件	3,700	3,848	4,714	4,559	4,408
実績	件	4,906				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	年間の目標値を上回る相談を受けている。					
備考	委託先:(福)翔の会「生活相談室すまいる」相談員4名 平成30年度以降の目標値については、計上方法が変わったため減っています。					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	5 社会福祉協議会PR活動、懇談					
事業内容 (目標)	民生委員・児童委員の会合や自治会等各団体に直接出向き、顔の見える関係づくりを通して社協に対する理解を深めてもらうとともに、意見交換を通じ、ニーズ把握に努めます。					
現状と課題	昨年よりも多くの場所に出向き、社協のPRを行うことができた。直接顔を合わせて説明をさせていただくことで、少しずつではあるが社協への理解が進んでいる。平成28年度の重点事業だった地域福祉実態調査は、自治会、民生委員、障がい当事者団体等、複数の団体と懇談を実施し、事例を含めた具体的な福祉課題を把握することができた。今後の取り組みにつなげていく。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	社協PR活動回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	25	25	27	28	29
実績	回	33				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	社協会員会費納入の依頼に合わせ事業のPR活動を行った他、積極的に地域福祉を推進している団体(民生委員児童委員協議会、自治会長連絡協議会他)と社協役職員が地域福祉をテーマに直接懇談をすることで顔の見える関係づくりと今後の社協事業の展開に役立てられるよう取り組んでいる。					
備考	PR活動を行った自治会:21自治会懇談を行った団体:民生委員児童委員協議会(南部・中部・北部)、自治会長連絡協議会、障がい当事者団体等					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(1)地域福祉ネットワークをつくろう					
施策の内容	①地域福祉活動拠点の充実 ②各種体制のネットワークづくり					
事業	6 地域の各種団体との連携、ネットワークの拡大					
事業内容 (目標)	協議体であるという強みを活かし、各種の事業等で地域の個人、団体と連携・協力します。新たなネットワーク体制の構築に取り組みます。					
現状と課題	各種団体との連携による新たな取り組みができた。(寒川ロータリークラブ、おれんじリング湘南、茅ヶ崎保健福祉事務所等)また、「子ども食堂」をキーワードに、誰でも参加できる居場所づくりを進めているボランティアグループの立ち上げ、活動の支援にあたった。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	地域や個別の課題に対し、地域住民、あらゆる団体等とネットワーク構築をし、課題解決に向けた取り組みを行います。					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	ふれあい福祉フェスティバルの様々な団体と連携してのイベント開催、権利擁護ネットワーク連絡会の町内福祉関係団体と権利擁護の視点を共有する場の設定、また個別ケースにおける民生委員児童委員や福祉関係事業所等の連携他、地域福祉を推進すべく町内様々な機関と連携、ネットワークを組み課題解決に向け取り組んでいる。					
備考						

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(2)福祉情報を発信し合おう					
施策の内容	①福祉サービスにかかる情報公開 ②町民に伝わりやすい情報提供					
事業	7 広報紙「社協さむかわ」の発行					
事業内容 (目標)	広報紙「社協さむかわ」を隔月発行し、福祉情報を全世帯にお届けします。					
現状と 課題	現在の広報紙の課題として、堅い印象の紙面である、字が小さく読みにくい(文章が多い)、社協の活動が伝わりにくいといったことがある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	紙面ならではの発信力を高めるよう工夫し、地域福祉情報を分かりやすく伝えます。					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	社協の周知と地域福祉活動推進のために、広報紙を通じた継続的なPRは不可欠なため。					
備考	「手に取ってもらえる、中身を読みたいくなる1面」を心がけ、明るい色使いでポップな仕上がりを心がけている。1年間のテーマと掲載スケジュールをもとに、幅広い社協事業や地域の取り組みを偏りなく掲載できるように工夫した。					

基本目標	1 みんなで地域福祉を推進しよう					
行動目標	(2)福祉情報を発信し合おう					
施策の内容	①福祉サービスにかかる情報公開 ②町民に伝わりやすい情報提供					
事業	8 ホームページの充実					
事業内容 (目標)	より見やすいホームページにすべく改善・リニューアルを施し、迅速な福祉情報伝達に努めます。					
現状と課題	見やすいページ作成を心がけ、調べたい内容がすぐに検索できるようにしている。また、日々の活動をブログにて報告し、活動のPRを行っている。(社会福祉協議会)行政情報を正確にかつ迅速に公表し、行政の公平性・透明性を図れるよう努めています。(町)					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	最近の情報を伝達できるよう迅速な更新。					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	閲覧数は毎年増えている。ホームページを見たことでの問い合わせも増えている。適宜内容を更新し、見やすいサイトを作成する事ができた(社会福祉協議会)。ホームページの「町からのお知らせ」「新着情報」「新着イベント」コーナーへ積極的な情報の更新をうながしたことにより、行政情報を迅速かつ正確に町民へ発信している(町)。					
備考						

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(3)ボランティア活動に参加しよう					
施策の内容	①ボランティア活動ができる環境づくり ②ボランティア活動への参加促進					
事業	9 ボランティアセンター事業					
事業内容 (目標)	ボランティアについての相談窓口、ボランティアコーディネート、ボランティア情報の発信等を行います。寒川町の地域活動を支える拠点となる「(仮称)さむかわ地域活動サポートセンター」への発展を検討します。					
現状と課題	ボランティアの登録者数、活動件数とも増加。「自分も障がいを抱えているけれど人の役に立ちたい」というボランティア活動希望者もあり、どのような活動であれば可能かを丁寧に検討・調整した。同じ方がいくつものボランティア活動をしていたり、ボランティアグループでは新規会員がなかなか無かったりという状況は継続的にある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	社協ボランティアセンター個人登録ボランティアの年間活動人数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	2,700	2,800	2,800	2,800	2,800
実績	人	2,489				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	新たな活動先の開拓もあり活動回数は増加している。また、それに伴いボランティアセンターへの来所、電話等も増えている。最近では、自身に障がい等の生きづらさを抱える人が「ボランティアをしたい」と来所されることが多い。今後も、誰も排除しない、まずは受け入れ話を聞き寄り添う、そんなボランティアセンターを目指す。					
備考	平成28年7月より、町高齢介護課が運営主体の「寒川町介護ボランティアポイント事業」の事務を受託し対応している。					

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(3)ボランティア活動に参加しよう					
施策の内容	①ボランティア活動ができる環境づくり ②ボランティア活動への参加促進					
事業	10 ボランティア活動のPRと参加しやすい環境づくり					
事業内容 (目標)	ボランティア活動PR強化月間を充実させ、ボランティア活動に参加するきっかけとなる講座の開催やボランティア活動の体験等の拡充に取り組みます。					
現状と 課題	新規ボランティア登録者数は大幅に増加した。ボランティア活動への関心や参加の意欲が高まっている。町内のボランティアの情報発信拠点として、社協ボランティアセンター独自のボランティアPR月間、ボランティア活動体験、ボランティア講座や出張(出前)相談等、ホームページやSNSの活用等、情報発信に努めたい。また、町受託事業「シニアげんきポイント」の窓口をボラセンに置いていることも、ボランティアの和の広がりにつなげたい。					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	新たなボランティア登録者数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	12	12	15	15	15
実績	人	18				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	社協ボランティアセンターで受け付けている個人登録ボランティア、サポートさむかわのサポーター、いずれも登録数が増えている。それに伴い、ボランティアセンターへの来所、電話等も増えている。最近では、自身に障がい等の生きづらさを抱える人が「ボランティアをしたい」と来所されることも多く、まずは話を聞き登録を受け付けるが、どのような活動に結びつけることができるかをスタッフで相談することが増えている。					
備考	毎年10月と11月を「寒川！ボランティア大作戦！」と題して、ボランティアのPR強化月間とする取り組みが今年度で2年目となる。その時期に「寒川！ボランティア学びあい講座」も開催し、ボランティア活動を始める、広げる、きっかけとしたい。					

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	11 民生委員・児童委員活動事業					
事業内容 (目標)	地域住民に対する的確な援助、相談、指導等の活動を行うため、研修会等の実施に対し補助を行い、資質向上を図ります。					
現状と課題	地域住民と行政のパイプ役である民生員児童委員の活動を援助するため、民生員児童委員協議会の事務及び補助を行う。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	研修回数・延べ活動日数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回・日	11 11,900	11 11,900	11 11,900	11 11,900	11 11,900
実績	回・日	14 10,199				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	民生委員児童委員の任務である地域住民対し、的確な援助や相談等活動を行うために必要な研修を実施している。					
備考	視察研修(福島県郡山市富岡町民生員児童委員協議会視察等)、障がい者への理解研修等					

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	12 小地域福祉活動事業					
事業内容 (目標)	自治会等身近な地域でのサロン活動の継続的な支援や立ち上げに際しての相談・バックアップを行います。					
現状と課題	町内自治会で活動している小地域サロンに対し助成を行い、その活動を支援するとともに、地域サロン懇談会を行い、運営者同士の情報交換会を行っている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	立ち上げ地区数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	地区	15	16	16	16	16
実績	地区	15				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		1:拡充				
評価の理由	地域サロンへ継続的に活動を支援、助言している。地域サロン懇談会も実施し、サロン関係者との情報交換を行うことができた。また新たに地域活動を始めようと考えている住民グループがあり、その立ち上げ支援を継続して行っている。					
備考						

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	13 ふれあい福祉フェスティバル					
事業内容 (目標)	だれもが気軽に集い、催し物や模擬店等を通じて交流や体験出来る場を創出することを目的に開催します。					
現状と課題	ふれあい福祉フェスティバルには多くの福祉関係団体や企業が参加し、イベントのみならず、地域の諸問題へ協力しての解決やネットワーク作りに努めることが出来た。年々大きくなる運営は負担が増しているため、分担できるような体制を構築していく必要がある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	来場者数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	4,000	4,200	4,300	4,300	4,300
実績	人	—				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		D:未実施				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		1:拡充				
評価の理由	誰もが気軽に参加、福祉出店出来るフェスティバルとして定着しており、今年は新たに4団体の新規参加があり、規模は昨年よりも大きくなった。より来場者に「福祉」のイベントであることをPRするため協賛金を募り、チラシやのぼり旗を作成した。					
備考	※悪天候の為、中止となった。					

基本目標	2 みんなで地域福祉活動に参加しよう					
行動目標	(4)交流できる場をつくろう					
施策の内容	①交流できる環境づくり ②地域で支え合える相談体制の整備					
事業	14 ふれあい・いきいきサロン					
事業内容 (目標)	仲間づくりや協力体制づくりを進めるため、障がい者や子育て中の親子等を対象に開催します。					
現状と課題	子育てサロンは、ボランティアの協力のもと、楽しいプログラムで開催できた。参加人数は昨年より減であったが、引き続きチラシ配布等で周知していく。障がい児者サロンという区切った名称ではなく、誰でも参加型のサロンで、芋掘りとお花見を開催した。多くの参加があり、ごちゃまぜの心地よい空間で、今後、社協が主催で開催するサロン、居場所づくりの方向性を考える土台となった。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	サロン参加者数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	750	770	750	750	750
実績	人	652				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	2、3歳の子どもと保護者を対象とした「子育てサロン」はチラシ配布やママ同士の口コミで徐々に参加人数が増えているものの、昨年と比べると参加者数が少なめ。障がいのある方とボランティアでの交流を目的とした「障がい児者サロン」は10月に芋掘りを開催。					
備考						

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(5)福祉活動の担い手を育てよう					
施策の内容	①学習機会の充実 ②世代や障がいを超えた交流の場の確保					
事業	15 手話奉仕員養成研修事業					
事業内容 (目標)	障がいのある人が積極的に社会へ参加できるよう支援するために、町聴覚障害者協会の協力を得ながら、手話通訳者の養成講座を開催します。					
現状と課題	手話奉仕員養成講座等により、手話通訳者を養成しているが、資格取得までつながらないことが課題。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	講座受講者数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	32	32	32	32	32
実績	人	21				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	初級編2と上級編の2コースの手話講習会を開催し、計21名の参加者となり、年間の目標値を下回った。					
備考	委託先:寒川町聴覚障害者協会 初級編2コース 5月12日～11月17日 全25回開催 14名参加 上級編コース 11月2日～29年3月1日 全15回 7名参加					

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(5)福祉活動の担い手を育てよう					
施策の内容	①学習機会の充実 ②世代や障がいを超えた交流の場の確保					
事業	16 ボランティア講座					
事業内容 (目標)	その時々の方勢やニーズに応じたテーマを内容とし新たなボランティアの掘り起こしを目指します。					
現状と 課題	寒川！ボランティア学びあい講座は、受講者数が大幅に少なかった。昨年と違うプログラムを入れながら開催し、各内容は講師のご協力で大充実してい。より効果的なボランティア講座の企画が必要か。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	ボランティア講座受講者のべ人数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	120	130	100	100	100
実績	人	67				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	「寒川！ボランティア学びあい講座」を10月～11月にかけて開催。全10回の多様なプログラムで、関心のある内容のみの参加も可とし、1人でも多くの参加者、またそこから新たにボランティア活動に参加する人を増やしていきたい。					
備考	平成28年7月より、町高齢介護課が運営主体の「寒川町介護ボランティアポイント事業」の事務を受託し対応している。事業の説明会（登録会）を毎月開催し、この事業における新たなボランティア登録者も増えている。					

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	17 シルバー人材センター支援事業					
事業内容 (目標)	シルバー人材センターの機能充実、支援を推進し、高齢者の社会参加の場の確保と生きがいや社会貢献の推進を図ります。					
現状と課題	平成28年度は、派遣事業及び請負契約金額において増額した。それに伴い、会員就業率も年々増加し、平成28年度には93%を超えている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	登録会員数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	389	395	401	407	413
実績	人	306				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	シルバー人材センターの運営を支援し、高齢者の社会参加の場の確保と生きがいや社会貢献の推進を図っている。しかし、会員資格となる60歳以上の住民の定年延長や再雇用、年金支給年齢の引き上げ等、雇用情勢や生活スタイルが変化しているため会員数が増加せず、遅延が生じていると思われる。					
備考						

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	18 高齢者の生きがいづくり等支援事業					
事業内容 (目標)	シニアクラブ(旧老人クラブ)の親睦や地域での生きがいと健康づくり推進のため、シニアクラブ連合会及び各シニアクラブの活動の活性化を支援します。					
現状と 課題	平成28年度は9月開催されたゆめクラブ大学やカラオケ教室等、町広報にて周知を行うなど、町民に向け積極的なPRができた。					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	シニアクラブ数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	クラブ	15	15	15	15	15
実績	クラブ	15				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	シニアクラブ運営を支援し、会員同士の親睦や地域での生きがいと健康づくりを推進したため。					
備考						

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	19 ふれあい福祉フェスティバル					
事業内容 (目標)	様々な団体が出店し、各団体のPRを行うと共に、団体同士、顔をつなぐことで連携を深め、福祉の輪を広げます。					
現状と課題	ふれあい福祉フェスティバルには多くの福祉関係団体や企業が参加し、イベントのみならず、地域の諸問題へ協力しての解決やネットワーク作りに努めることが出来た。年々大きくなる運営は負担が増しているため、分担できるような体制を構築していく必要がある。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	出店団体数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	団体	36	37	38	39	40
実績	団体	—				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		D:未実施				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		1:拡充				
評価の理由	誰もが気軽に参加、福祉出店出来るフェスティバルとして定着しており、今年は新たに4団体の新規参加があり、イベント全体規模は昨年よりも大きくなった。より来場者に「福祉」のイベントであることをPRするため協賛金を募り、チラシやのぼり旗を作成した。					
備考	※悪天候の為、中止となった。					

基本目標	3 みんなでつながり新しい担い手を育てよう					
行動目標	(6)つながり合い福祉の輪を広げよう					
施策の内容	①地域における人材の受け入れ拡大 ②地域企業や学校等との連携					
事業	20 小中学校福祉協力校助成事業					
事業内容 (目標)	若い福祉の芽を育てるべく、町内全小・中学校に福祉教育に係る費用を助成すると共に、プログラム内容の相談や講師の調整、当日の支援等を行います。					
現状と課題	町内小中学校全てに福祉教育の取り組みが定着してきている。子どものみならず教員への福祉の理解が進み、積極的に福祉教育への参加が見られるようになった。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	学んだことを活かせるような、子どもたちの地域社会での活動					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	助成金のみならず、各学校の福祉教育活動への協力、調整も行い、思いやりとたすけあいの心を育てている。今後も継続し、定着させていく。					
備考	6校、23プログラム、延べ2, 243名参加					

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	21 在宅障がい者福祉サービス充実事業					
事業内容 (目標)	障がい者の地域支援を充実することを目的とし、在宅重度障がい者のための住宅設備改良及び障がい者の日常生活の安全確保のためのSOSネットワーク等の支援を行います。					
現状と 課題						
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	制度周知回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	25	25	●	●	●
実績	回	25				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	手帳発行時の制度周知を予定どおり実施したため。					
備考	新規の障害者手帳交付に伴う、説明会等開催による制度周知回数。 目標について、平成30年度より制度周知回数から制度周知の実施に変更したことに伴い目標値を「●」に変更しています。					

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	22 障害者自立支援給付事業					
事業内容 (目標)	障がい者が日常生活及び社会生活において自立した生活を送ることができるよう、必要な介護及び訓練等の提供を行います。					
現状と 課題						
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	制度周知回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	25	25	●	●	●
実績	回	25				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	手帳発行時の制度周知を予定どおり実施したため。					
備考	新規の障害者手帳交付に伴う、説明会等開催による制度周知回数。 目標について、平成30年度より制度周知回数から制度周知の実施に変更したことに伴い目標値を「●」に変更しています。					

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	23 子育て支援事業					
事業内容 (目標)	子育て支援策の一環として、子育てサポートセンターを拠点に、子育て相談・虐待相談・育児の援助を受けたい人と行う人が会員となって一時預かり等の事業を行います。					
現状と課題	年間利用者数は、目標量を下回ったが、定期的な親子・親向けの講座やイベント等を開催し、利用のきっかけは、つくることができた。幼稚園のプレ保育の開始などの要因が考えられる。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	子育て支援センターの利用者数					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	12,250	12,500	—	—	—
実績	人	9,663				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	幼稚園でのプレ保育の充実や社会情勢の変化、人口減少などの様々な要因により、利用件数の目標達成は厳しい状況となっている。子ども子育て会議に於いて、平成29年度に事業内容や目標値の変更も含め検討していく。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	24 児童クラブ運営事業					
事業内容 (目標)	保護者が仕事などで昼間、家にいない家庭の子ども達(小学生)の健全な育成を図るため、地域の理解と協力を得て、児童クラブの適正な運営を行います。					
現状と 課題	全ての小学校区に児童クラブを設置している。全てのクラブで待機児童がいるわけではないが、各児童クラブが定める定員数の見直しが必要である。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	入所を希望する者に対する入所率					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	%	100	100	100	100	100
実績	%	99				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	児童クラブを増設し、待機児が少なくなった。今後も入所希望者が増えると思込まれるため、引き続きどのように対応していくか検討していく。					
備考	入所児童222人、待機児童2人					

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	25 高齢者在宅福祉サービス事業					
事業内容 (目標)	在宅生活が困難である高齢者等が安心して生活が送れるよう必要に応じて各種支援を行います。					
現状と 課題	介護保険の中で生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議を設置し、地域の団体当を担い手とするサービス展開について検討する予定。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	必要に応じた適切なサービス提供を行います。					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	必要に応じた適切なサービス提供を行ったため。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	26 成年後見制度講座の開催					
事業内容 (目標)	成年後見制度に関する講座を開催し、制度の普及・啓発を行います。					
現状と 課題	町民へ成年後見制度を理解してもらうために講義を行っている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	来場者数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	人	30	30	30	30	30
実績	人	29				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	成年後見制度を利用するための申し立てをどのような手順で行っていくのか、分かりやすく町民に講義を行った。実際に使う書類を用いて記入し、面接場面を想定したロールプレイなども行った。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(7)暮らしやすい生活環境をつくろう					
施策の内容	①バリアフリーのまちづくり推進 ②生活環境づくりの推進					
事業	27 法人後見事業					
事業内容 (目標)	成年後見制度の利用が困難な方を中心に、その担い手を法人として引き受け、権利擁護推進の一助とします。					
現状と課題	高齢、後見類型1名受任中。引き続き事業を継続する。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	受任件数					
	指標の 単 位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目 標	件	2	3	3	3	3
実 績	件	1				
評 価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		C:目標 に向け 遅延				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	相談は寄せられているが、受任には結びついていない。引き続き事業を継続する。					
備 考	高齢、後見類型1名受任※高齢夫婦の受任を相談中					

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	28 健康普及事業					
事業内容 (目標)	地域の実情や町民のライフステージに合わせた健康づくりを支援するため、町民が自主的に健康づくり等に取り組むための機会や場を提供します。					
現状と 課題	健康づくりに取り組むための機会を提供していますが、その結果町民が安心して暮らせるようになっているかの評価ができていません。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	健康づくりや食育をテーマとする講座の年間開催数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	65	67	68	68	68
実績	回	73				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	73回の機会を提供でき、延べ3,939名に、健康づくりや食育について伝達できたため。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	29 健康増進事業					
事業内容 (目標)	健康についての正しい知識を得ることで健康に対する心配や不安を解消するため、健康教育等の事業を対象者へ周知・勧奨します。					
現状と 課題	周知が行き渡っておらず、事業の実施を知らない町民がいる。平成28年度からは他課の協力を得て、他課の事業に参加する町民に直接紹介する機会を設けるようにしている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	健康増進事業の周知回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	43	45	61	61	61
実績	回	52				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		B:目標 に向け 順調				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	周知を重ねることで、健康に関する行動を始めるきっかけになると考えるため。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	30 緊急通報システム(高齢者在宅福祉サービス事業)					
事業内容 (目標)	慢性疾患があり、日常生活を過ごすことに不安がある独居高齢者に対し、緊急事態発生時に迅速な救援体制が取れるように緊急通報システムを貸与します。					
現状と課題	登録者数(年度末時点)平成26年度・・・17名平成27年度・・・17名平成28年度・・・13名					
年次計画(指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性)						
指標	在宅生活が困難な高齢者に対して安心して生活が送れるように支援。					
	指標の単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	在宅生活が困難な高齢者に対して安心して生活が送れるように支援したため。					
備考						

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	31 避難行動要支援者支援事業					
事業内容 (目標)	災害時における要支援者の安否確認や情報の伝達、迅速な避難誘導を行うため、特に配慮を要する者について名簿を作成します。					
現状と 課題	避難行動要支援者の名簿の作成と更新を行う。対象者を把握することが課題。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	避難行動要支援者の把握、同意確認、情報の共有・個別支援計画の作成支援。					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	—	●	●	●	●	●
実績	—	●				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	12月に本人同意がとれた分の名簿及び個別支援プランを避難支援関係者である自治会や民生委員に提供をした。また平成29年2月に追加対象者へ同意確認書を送付し、5月現在名簿を更新。					
備考	対象者数:1,753人 同意者:656人 同意率:37.42%					

基本目標	4 みんなで安心・安全に暮らせる町にしよう					
行動目標	(8)安心できる環境をつくろう					
施策の内容	①健康づくり ②緊急・災害時の対応					
事業	32 災害ボランティアセンター					
事業内容 (目標)	災害時のボランティア活動の拠点として、町・さむかわ災害ボランティアネットワークと協力し災害ボランティアセンターの設置、運営を行います。また、備えとしての訓練はより実践的な内容で取り組みます。					
現状と課題	町総合防災訓練の会場において、災害ボランティアセンターの設置運営訓練を実施。町総務課、さむかわ災害ボランティアネットワーク、町社協、一般等で73名の参加があった。町が大規模災害に見舞われた際にどのようにボランティアを受け入れ、支援してもらうのか、具体的なイメージ定着してきている。					
年次計画（指標、目標数値、実績数値、評価、今後の方向性）						
指標	災害ボランティアセンター設置訓練の開催回数					
	指標の 単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
目標	回	2	2	2	2	2
実績	回	2				
評価 A:目標達成 B:目標に向け順調 C:目標に向け遅延 D:未実施 E:廃止の方向		A:目標 達成				
今後の方向性 1:拡充 2:継続 3:縮小 4:廃止		2:継続				
評価の理由	例年通り、寒川町総合防災訓練の会場において、寒川町災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施した(9月25日)。寒川町総務課、さむかわ災害ボランティアネットワーク、社協と三位一体の連携はかなりスムーズになっているように思う。また今年、4月の熊本地震に伴い設置された益城町災害ボランティアセンターの運営方法を取り入れ、必要最小限の書類等の記載内容とセンター運営スタッフを想定し訓練に取り組んだ。					
備考	訓練前には、さむかわ災害ボランティアネットワークのメンバーと打ち合わせを行い、益城町の災害ボラセンの運営を具体的にイメージしながら訓練当日を迎えた。					